

わくわく無限大！
個性いろいろ
ともに創る
驚きの未来。

2022年2月期第3四半期決算 (補足説明資料)

2022年1月14日

株式会社クリエイト・レストランツ・ホールディングス
【東証第一部 証券コード3387】

目次

I. 業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]
2. 店舗の営業状況及び既存店前々年比について
3. 業績の概要(カテゴリー別)
4. トピックス①②③

II. 2022年2月期業績予想

1. 2022年2月期通期業績予想の概要

III. 株主還元策

1. 株主還元について

IV. Appendix

1. 出退店及び店舗数について
2. 既存店前々年比の推移
3. 財務状況について

I. 業績ハイライト

1. 業績の概要[IFRS]

売上収益:557億円、営業利益:117億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益74億円、調整後EBITDA242億円

✓ 売上収益について

- 概ね、“2021年10月14日開示通期予想”の目標値※1通り(約4億円増)にて推移
- 実質既存店前々年比※2は、第3四半期累計で49.4%

〔実質既存店前々年比※2の推移〕

	9月	10月	11月	3Q計 (9-11月)	3Q累計 (3-11月)
目標	40.4%	56.5%	78.9%	58.8%	48.9%
実績	40.5%	65.5%	74.1%	60.0%	49.4%

✓ 営業利益について

- 対目標値において約36億円上振れし、第3四半期までに通期予想を上回る黒字を確保(進捗率108.5%)
- 少ない売上でも利益を出せる筋肉質なコスト構造への転換が完了・定着
- 当初の見込みを超えた協力金・雇用調整助成金等の下支えあり

	2021年2月期 第3四半期		2022年2月期 第3四半期	
	実績	売上比	実績	売上比
売上収益	56,732		55,721	
営業利益	△ 9,230	-	11,720	21.0%
税引前利益	△ 9,816	-	11,466	20.6%
四半期利益	△ 9,869	-	8,385	15.0%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	△ 8,779	-	7,449	13.4%
調整後EBITDA ※3	3,694	-	24,219	43.5%

2022年2月期 第3四半期		目標値 差異
目標値 ※1	売上比	
55,278		+442
8,141	14.7%	+3,578
7,859	14.2%	+3,606
5,773	10.4%	+2,612
5,203	9.4%	+2,246
19,758	35.7%	+4,460

2022年2月期 (2021年10月14日開示)		進捗率
通期予想	売上比	
91,200		61.1%
10,800	11.8%	108.5%
10,200	11.2%	112.4%
7,400	8.1%	113.3%
6,500	7.1%	114.6%
27,100	29.7%	89.4%

※1:2022年2月期第3四半期(目標値)については、社内における目標値です

※2:実質既存店前々年比は、コロナ禍前の2020年2月期の数値を用いて、且つ休業店舗も含めて算出しています

※3:調整後EBITDA=営業利益+その他の営業費用-その他の営業収益(協賛金収入、雇用調整助成金、協力金及び賃料減免分等を除く)+減価償却費+非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

2.店舗の営業状況及び既存店前々年比(対2020年2月期)について

- ・4回目の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置が延長された後、9月末に解除
- ・ただし、東京や大阪等においては、リバウンド防止措置として営業時間の短縮・酒類提供の自粛等の要請が10月25日※1まで継続、その後も自粛生活により変化したお客様の消費行動はすぐには戻らず
⇒11月末においてグループ全体の97.5%が営業するも、商況に合わせて内54.5%で時短営業を継続

	3月 (2021年3月31日時点)	4月 (2021年4月30日時点)	5月 (2021年5月31日時点)	6月 (2021年6月30日時点)	7月 (2021年7月31日時点)	8月 (2021年8月31日時点)	9月 (2021年9月30日時点)	10月 (2021年10月31日時点)	11月 (2021年11月30日時点)	12月 (2021年12月31日時点)
総店舗数	1,073	1,075	1,068	1,067	1,066	1,060	1,059	1,057	1,059	1,059
内、営業店舗数	1,041	760	790	994	870	831	842	1,039	1,033	986
(営業店舗数/総店舗数)	97.0%	70.7%	74.0%	93.2%	81.6%	78.4%	79.5%	98.3%	97.5%	93.1%
内、営業時間短縮店舗数	637	468	549	724	542	649	671	607	563	589
(営業時間短縮店舗数/営業店舗数)	61.2%	61.6%	69.5%	72.8%	62.3%	78.1%	79.7%	58.4%	54.5%	59.7%
実質既存店前々年(対2020年2月期)比※2	51.9%	47.6%	35.5%	42.2%	51.0%	38.3%	40.5%	65.5%	74.1%	74.8%

※12月速報値

(ご参考)SFPカテゴリー

総店舗数	226	226	226	226	227	227	227	225	225	225
内、営業店舗数	222	79	41	180	68	42	48	222	222	222
(営業店舗数/総店舗数)	98.2%	35.0%	18.1%	79.6%	30.0%	18.5%	21.1%	98.7%	98.7%	98.7%
内、営業時間短縮店舗数	176	54	24	149	36	30	32	177	152	153
(営業時間短縮店舗数/営業店舗数)	79.3%	68.4%	58.5%	82.8%	52.9%	71.4%	66.7%	79.7%	68.5%	68.9%
実質既存店前々年(対2020年2月期)比※2	36.5%	30.2%	7.1%	14.7%	16.4%	5.4%	5.3%	40.4%	68.2%	67.7%

※12月速報値

※1:10月25日に要請が解除されたのは東京や大阪等であり、解除のタイミングは自治体によって異なります

※2:実質既存店前々年比の定義:コロナ禍前の前々年度(2020年2月期)以前に出店した店舗を比較対象とし、期間中休業した店舗も含めて算出しています

3.業績の概要(カテゴリー別)

カテゴリー別の概要

- ・CRカテゴリー/専門ブランドカテゴリーは、2Qと比べて売上は増加する一方、時短要請解除に伴い協力金の計上額が減少、キャッシュフローは2Q対比で減少
- ・SFPカテゴリーは、酒類提供の自粛要請解除に伴い、2Qと比べて休業店舗が減少し、売上・キャッシュフローともに大幅に増加
- ・海外カテゴリーは、感染縮小に伴い、2Qと比べて売上・キャッシュフローともに増加

[カテゴリー別実質既存店前々年比]

カテゴリー	1Q (3-5月)	2Q単 (6-8月)	3Q単 (9-11月)	3Q累計 (3-11月)
CR	47.8%	46.7%	61.6%	51.8%
SFP	24.6%	12.0%	38.3%	24.8%
専門ブランド	52.8%	52.4%	65.8%	56.7%
海外	58.1%	79.4%	88.0%	75.8%
連結	45.1%	43.6%	60.0%	49.4%

(単位:百万円)

カテゴリー	2021年2月期3Q(累計)			2022年2月期1Q			2022年2月期2Q			2022年2月期3Q			2022年2月期3Q(累計)		
	売上収益	カテゴリーCF※2	売上比	売上収益	カテゴリーCF※2	売上比	売上収益	カテゴリーCF※2	売上比	売上収益	カテゴリーCF※2	売上比	売上収益	カテゴリーCF※2	売上比
CR	20,361	△ 1,460	-	7,033	1,509	21.5%	6,894	3,358	48.7%	8,165	2,359	28.9%	22,093	7,226	32.7%
SFP	13,818	△ 1,511	-	2,229	139	6.3%	1,096	1,452	132.4%	3,136	1,911	60.9%	6,462	3,503	54.2%
専門ブランド	19,374	△ 378	-	6,374	979	15.4%	6,000	1,787	29.8%	6,904	1,624	23.5%	19,280	4,391	22.8%
海外	3,935	△ 191	-	2,401	101	4.2%	3,021	189	6.3%	3,384	242	7.2%	8,808	534	6.1%
その他調整等※1	△ 758	7,236	-	△ 298	2,831	-	△ 260	2,770	-	△ 365	2,960	-	△ 924	8,562	-
合計	56,732	3,694	6.5%	17,740	5,562	31.4%	16,753	9,558	57.1%	21,227	9,098	42.9%	55,721	24,219	43.5%

※1: その他調整等は、IFRS16号適用に伴う減価償却費のほか、主に各カテゴリーには配分していない本社経費等であります

※2: カテゴリーCF = 営業利益(日本基準) + 減価償却費 + のれん償却費 + 協賛金収入 + 非経常的費用項目 + 期間対応収益項目(雇用調整助成金及び協力金等)

4. トピックス① – 増資について –

増資の概要

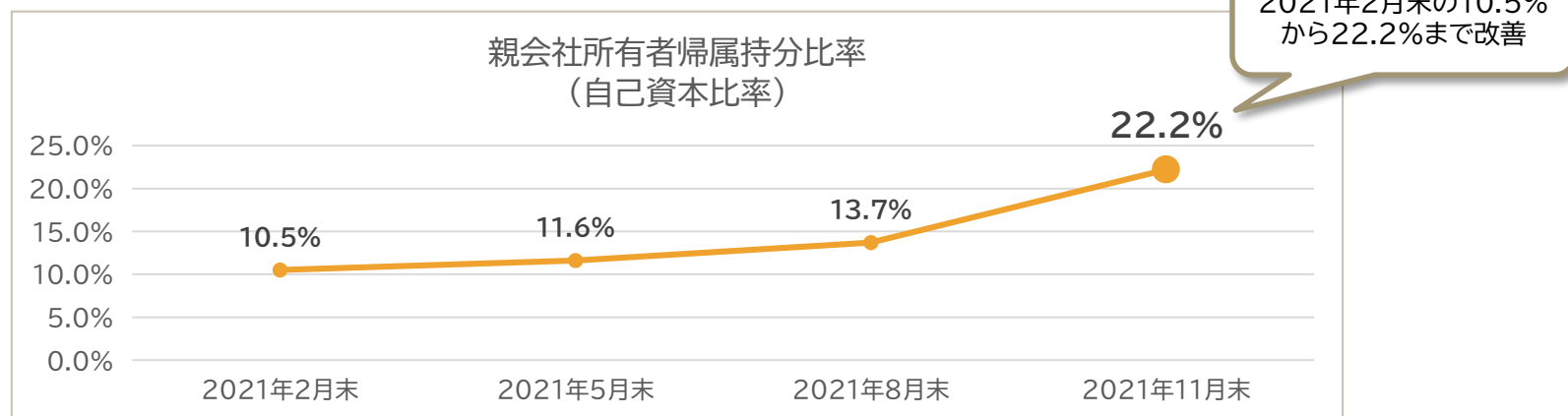
目的:財務基盤の一層の拡充と成長資金の確保

⇒10月28日に公募増資を取締役会にて決議、第三者割当増資含め12月15日に払い込み完了

(1) 発行新株式数	23,369,000株
(2) 調達額	16,176百万円
(3) 調達資金の用途	①アフターコロナを見据えたポートフォリオの見直しのための新規出店・業態変更・改装資金等 ②生産性の向上・人財不足への対応のためのDX推進資金 ③長期借入金の返済(永久劣後特約付ローン含む) 〔①及び②に50億円、残額を③に充当予定〕

※1:発行新株式数及び調達額は、公募増資及びオーバーアロットメントに係る第三者割当増資の合計です

※2:今後の柔軟な資本政策に備えるため、増資の払込期日と同日に同額の減資を実行しています



4. トピックス②－プライム市場選択申請－

新市場区分について

- ✓2022年4月4日に予定されている新市場への移行
- ・「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認
- ・2021年12月17日開催の取締役会決議を経て、「**プライム市場**」の選択申請を実施

✓コーポレートガバナンス報告書を提出

改訂されたコーポレートガバナンス・コードの基本原則への対応

⇒持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るべく、新たな方向性を検討

原則

株主総会における権利行使

社会・環境問題をはじめとする
サステナビリティを巡る課題

取締役会の役割・責務

当社における方向性

・インターネット等による議決権行使(議決権電子行使プラットフォームを含む)を、次期株主総会から導入すべく準備中

・2021年11月にサステナビリティ委員会を設立
⇒グループのサステナビリティを推進、継続的に取り組むことで
中長期的な企業価値の向上を図る

・独立社外取締役が、全体の1/3以上となるよう、次期株主総会にて現在の2名から、女性を含めた3名への増員を予定
・ジェンダー等の多様性やスキルを考慮した上で、指名・報酬委員会の設立を予定(過半数を独立社外取締役とする)



4.トピックス③ーグループシナジーの更なる追求ー

グループ各社におけるメニュー連携の強化

- ・ゴルフ場内レストランにてグループ各社のコラボメニューを提供開始



- ・LGEW社運営のイタリアンレストラン「TANTO TANTO」にて、GBC社運営のベーカリー「IKEDAYAMA」のパンを、ブレッドビュッフェとしてランドメニューにて提供

Check

IKEDAYAMAのカレーパンはカレーパングランプリでも「最高金賞」を受賞(東日本焼きカレーパン部門)
⇒今後、他のグループ会社での販売も検討



※GBC社:グルメプランズカンパニー社の略称/LGEW社:LG&EW社の略称

海外でのFC展開

- ・海外におけるFC店舗の出店加速
⇒タイに「かごの屋」、香港に「もみじ茶屋」等を追加出店

Ⅱ. 2022年2月期業績予想

1. 2022年2月期通期業績予想の概要

2021年10月14日開示の通期業績予想⇒変更なし

売上収益:912億円、営業利益:108億円、親会社の所有者に帰属する当期利益65億円、調整後EBITDA: 271億円

・オミクロン株に伴うまん延防止等重点措置の適用など、不透明な要素が多いため、通期予想は据え置き

(単位:百万円)	2022年2月期 (第3四半期)		2022年2月期 (2021年10月14日開示)		進捗率
	実 績	売上比	予 想	売上比	
売上収益	55,721		91,200		61.1%
営業利益	11,720	21.0%	10,800	11.8%	108.5%
税引前利益	11,466	20.6%	10,200	11.2%	112.4%
当期利益	8,385	15.0%	7,400	8.1%	113.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	7,449	13.4%	6,500	7.1%	114.6%
調整後EBITDA※	24,219	43.5%	27,100	29.7%	89.4%

※調整後EBITDA=営業利益+その他の営業費用-その他の営業収益(協賛金収入、雇用調整助成金、協力金及び賃料減免分等を除く)+減価償却費+非経常的費用項目(株式取得に関するアドバイザー費用等)

III. 株主還元策

1. 株主還元について ※2021年10月14日開示済みの内容から変更なし

配当

✓ 安定的な配当方針のもと、業績の回復が着実なものになりつつあることから、復配を決定

- ・2022年2月期の中間配当⇒1株あたり**1.5円**(実施済み)
- ・2022年2月期の期末配当予想⇒1株あたり**3.0円**の予想

株主優待制度

企業方針として、重要な株主還元策と位置づけ、今後も継続して実施

✓ 有効期限の延長

① 2021年5月31日までの有効期限(券面:薄茶色)⇒**2022年2月28日まで延長**

② 2021年11月30日までの有効期限(券面:紫色)⇒**2022年2月28日まで延長**

※券面の記載が、2021年5月31日有効期限(2020年11月送付分)及び2021年11月30日有効期限(2021年5月送付分)の株主様ご優待券が対象



✓ 利用可能店舗の拡充

- ・当社が運営する一部のゴルフ場レストランにて、2021年11月より株主様ご優待券が利用可能
⇒利用条件: 上限1名あたり2,000円(株主様ご優待券4枚)まで
⇒利用可能店舗: 32店舗
(2021年12月末時点)



※ゴルフプレー且つレストランを利用した場合に利用可能(ゴルフプレーのみ・レストランのみの場合は利用不可)

IV. Appendix

1. 出退店及び店舗数について

➤ 新規出店12店舗、退店30店舗、業態変更8店舗
⇒2021年11月末グループ総店舗数:1,059店舗

・主な新規出店

京都リサーチパークに2店舗(「かごの屋」/「GOCONC」)、ららぽーと富士見(チーズレストラン「リコッタ」)
全農との業務提携による出店(「みのりカフェ」福岡天神/「みのり食堂」アミュプラザくまもと)/いっちょう羽生
海外⇒米国ニューヨークに「更科堀井」/タイに「かごの屋」のFC/香港に「もみじ茶屋」のFC

・不採算店舗及び契約満了に伴う退店

ビュッフェ業態のほか、業務受託店舗等が契約満了に伴い退店

・立地環境や顧客ニーズに合わせ、業態変更を実施

居酒屋業態を定食業態やすし業態へ

【2022年2月期3Q 出退店一覧】

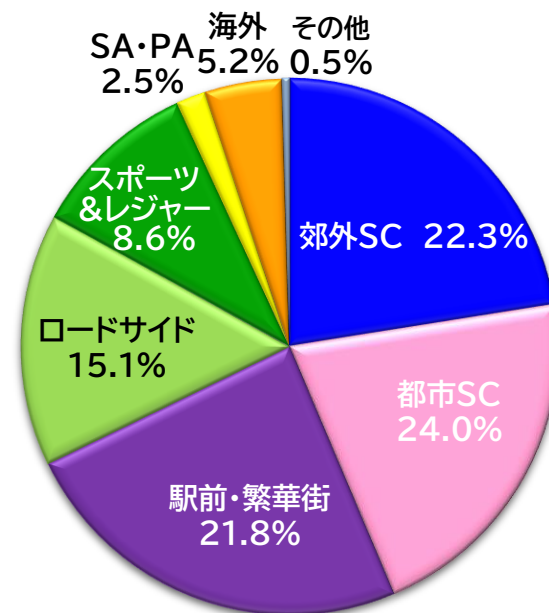
カテゴリー	2021年 2月末 店舗数	増減数		移管等 (調整) ※1	2021年 11月末 店舗数	業態 変更 ※1
		出店	退店			
CR	553	1	16	+1	539	1
SFP	227	1	3		225	6
専門ブランド	243	6	8	△1	240	1
海外※2	53	4	3	+1	55	0
グループ 総店舗数※3	1,076	12	30	+1	1,059	8

※1:グループ内における業態変更も含めた店舗数を記載しております

※2:海外カテゴリーの店舗数には、LG&EW社のジャカルタにおけるFC2店舗及びKR社のタイにおけるFC11店舗を含んでおります

※3:本資料上における期末店舗数は、2021年11月末時点での業務受託店舗、FC店舗を含むグループ総店舗数を記載しております

【立地別店舗数の構成比(2021年11月末時点)】



2. 既存店前々年比の推移

【連結】

	3月	4月	5月	1Q累計	6月	7月	8月	2Q累計	9月	10月	11月	3Q累計	12月 (速報値)	1月	2月	通期計
2022年2月期 実質既存店前々年比※1	51.9%	47.6%	35.5%	45.1%	42.2%	51.0%	38.3%	44.4%	40.5%	65.5%	74.1%	49.4%	74.8%	—	—	—
2021年2月期 実質既存店前年比※2	57.4%	11.7%	14.1%	27.8%	47.4%	55.0%	52.1%	39.4%	61.1%	72.6%	69.1%	48.4%	53.3%	38.2%	47.5%	48.5%

【カテゴリー別】

		3月	4月	5月	1Q累計	6月	7月	8月	2Q累計	9月	10月	11月	3Q累計	12月 (速報値)	1月	2月	通期計
CR	2022年2月期 実質既存店前々年比※1	55.5%	50.4%	37.4%	47.8%	42.5%	55.5%	42.6%	47.2%	44.8%	69.5%	71.0%	51.8%	75.4%	—	—	—
	2021年2月期 実質既存店前年比※2	45.9%	11.7%	8.9%	22.9%	44.7%	52.7%	53.8%	36.9%	60.3%	72.9%	69.9%	46.7%	60.6%	45.2%	57.2%	48.6%
SFP	2022年2月期 実質既存店前々年比※1	36.5%	30.2%	7.1%	24.6%	14.7%	16.4%	5.4%	18.3%	5.3%	40.4%	68.2%	24.8%	67.7%	—	—	—
	2021年2月期 実質既存店前年比※2	62.1%	5.2%	16.1%	28.3%	43.8%	54.1%	43.9%	37.8%	57.2%	69.3%	65.6%	47.2%	52.9%	26.0%	27.7%	47.6%
専門 ブランド	2022年2月期 実質既存店前々年比※1	59.4%	52.9%	45.6%	52.8%	50.9%	62.5%	45.3%	52.6%	47.3%	74.3%	75.7%	56.7%	73.5%	—	—	—
	2021年2月期 実質既存店前年比※2	63.2%	19.9%	22.1%	35.9%	57.3%	62.2%	58.6%	47.3%	66.7%	78.8%	76.3%	55.9%	56.3%	44.6%	53.3%	54.8%
海外	2022年2月期 実質既存店前々年比※1	50.0%	61.3%	63.5%	58.1%	75.1%	85.5%	77.2%	69.1%	82.6%	86.1%	94.6%	75.8%	90.0%	—	—	—
	2021年2月期 実質既存店前年比※2	46.1%	3.7%	4.1%	20.0%	27.1%	33.1%	36.2%	25.7%	45.4%	47.3%	41.9%	32.1%	21.6%	21.7%	46.8%	31.5%

※1: コロナ禍前(2020年2月期)の前々年度以前に出店した店舗を対象とし、且つ期間中休業した店舗も含めて算出しています

※2: コロナ禍前(2020年2月期)の前年度以前に出店した店舗を対象とし、且つ期間中休業した店舗も含めて算出しています

3. 財務状況について

(単位:百万円)

主要指標	2021年2月末	2021年11月末	差異
資産合計(百万円)	161,966	177,035	+15,069
負債合計(百万円)	138,702	130,654	△8,048
資本合計(百万円)	23,264	46,381	+23,117
親会社所有者帰属持分比率 (自己資本比率)	10.5%	22.2%	+11.7%
ネットD/Eレシオ	4.79倍	1.41倍	△3.38倍

ご注意

本資料は、2022年2月期第3四半期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません

また、本資料に記載した内容は、資料作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、その情報の正確性、完全性を保障または約束するものではなく、予告なしに変更される可能性があります

《IRに関するお問い合わせ先》

経営企画部 IRチーム

8022@createrestaurants.com